

事務事業名		自衛官募集事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																															
政策体系	政策名	0 9 その他		事業期間		予算科目																															
	施策名	9 9 その他		区分		会計	款 項 目 事業																														
	基本事業名	8 8 その他		単年度繰返		01	02 01 11 0200																														
根拠法令		自衛隊法第97条第1項		※期間欄に開始年度を記入																																	
所属	部課名	総務部総務課		【開始年度】		事務事業区分																															
	課長名	山口 浩雅		- 年度～		E 一般																															
	係名	行政文書係	電話	0192-27-3111																																	
	担当者	金野 佑輝	内線	234																																	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)																															
<p>自衛官募集に当たり、必要な広報を行う。自衛隊関係機関等と連携を図りながら、自衛隊活動に協力するとともに、自衛隊に対する市民の理解を深めるため、艦艇広報等を実施する。</p> <p>具体的な業務は以下のとおり。</p> <p>ア 広報紙や新聞等へ自衛官等募集記事を掲載する。</p> <p>イ 自衛官募集に係るのぼり旗を設置する。</p> <p>ウ 艦艇広報や音楽隊による演奏会を実施する。</p> <p>事業費は主にのぼり旗の作製及び修繕、新聞の広告掲載料などに支出される。</p>						<table border="1"> <tr><td>総投入量</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>事業費</td><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>財源内訳</td><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td>(千円)</td><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>		総投入量	国庫支出金		事業費	都道府県支出金		財源内訳	地方債			その他			一般財源			事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0	(千円)	トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量	国庫支出金																																				
事業費	都道府県支出金																																				
財源内訳	地方債																																				
	その他																																				
	一般財源																																				
	事業費計(A)	0																																			
人件費	正規職員従事人数																																				
	延べ業務時間																																				
	人件費計(B)	0																																			
(千円)	トータルコスト(A)+(B)	0																																			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動) 自衛官募集記事の広報等への掲載、自衛隊入隊者激励会への出席、自衛隊大船渡協力会との連携ほか	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 広報、新聞等への募集記事掲載回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ 艦艇広報等広報関係行事の開催</td><td>回</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 広報、新聞等への募集記事掲載回数	回	イ 艦艇広報等広報関係行事の開催	回	ウ	
名称	単位								
ア 広報、新聞等への募集記事掲載回数	回								
イ 艦艇広報等広報関係行事の開催	回								
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 自衛官募集記事の広報や新聞への掲載、自衛隊入隊者激励会への出席、自衛隊大船渡協力会との連携ほか									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民、市内自衛官候補生等適齢者	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ 市の人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>キ</td><td></td></tr> <tr><td>ク</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	カ 市の人口	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 市の人口	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 自衛隊活動に積極的に協力し、自衛隊への理解を深めてもらうとともに、二等陸士等の応募人員を確保する。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 自衛隊入隊者の増加に寄与する。	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ 市内在住自衛隊入隊者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>シ 艦艇広報一般公開来場者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ス 音楽隊演奏会来場者数</td><td>人</td></tr> </table>	名称	単位	サ 市内在住自衛隊入隊者数	人	シ 艦艇広報一般公開来場者数	人	ス 音楽隊演奏会来場者数	人
名称	単位								
サ 市内在住自衛隊入隊者数	人								
シ 艦艇広報一般公開来場者数	人								
ス 音楽隊演奏会来場者数	人								

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	33	33	33	33	33	33	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	
	人件費	事業費計(A)	千円	33	33	33	33	33	33	
		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	200	200	200	200	200	200	
		人件費計(B)	千円	800	800	800	800	800	800	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	833	833	833	833	833	833	
⑤活動指標	ア	回	4	3	3	4	4	4		
	イ	回	0	1	0	1	1	1		
	ウ									
⑥対象指標	カ	人	34,796	34,224	34,128	33,887	33,647	33,527		
	キ									
	ク									
⑦成果指標	サ	人	5	6	7	5	5	5		
	シ	人	-	-	-	-	-	-		
	ス	人	-	530	-	530	530	530		

事務事業ID	0021	事務事業名	自衛官募集事業
--------	------	-------	---------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	自衛隊法第97条及び地方自治法第2条に規定する法定受託事務として、市町村が処理すべき事務として定められている。なお、昭和35年5月、チリ地震津波により大きな被害を受けた当市は、自衛隊の献身的な復旧活動によりいち早く復興した。これをきっかけとして、自衛隊活動に協力する機運が高まり、翌昭和36年、自衛隊大船渡協力が発足している。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	東日本大震災の際、自衛隊による捜索・復旧等活動に対し市民も恩恵を感じたところであり、入隊に関心を持つ学生等も増加傾向にあると期待される。また、自衛官の募集に対しての市民の理解・共感も、高まっているものと考えられる。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	自衛隊の広報行事、特に艦艇広報や音楽隊演奏会は人気があり、市内外から多数の来場者がある。継続開催を希望する声が多い。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている      ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつか？意図することが結果に結びついているか？ 市の政策体系に直接結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である      ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 自衛隊法及び地方自治法に規定する市町村が処理すべき事務であり、市が担当すべき事務である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である      ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ より多くの自衛隊入隊者を確保するため、多くの市民に自衛隊への理解を深めてもらうことが目的である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない      ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 人口減少等社会環境が厳しくなる中、自衛隊入隊者の飛躍的な増加は考えにくい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある      ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 自衛隊入隊者が減少する。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 法定受託事務として、国の委託金を受けて事業を展開している。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 市町村が処理すべき事務であり、民間委託はできない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である      ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 国委託金だけで事業を実施している。自衛官の募集、艦艇広報等の事業実施に当たっては、自衛隊に対する理解を深めるため、広く市民に広報し、多くの参加等を呼びかけている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																		
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×	自衛隊活動に理解を深めてもらうためには、地道な息の長い事業展開が必要である。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
	低下	×	×																	
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	自衛隊への入隊者が毎年確保されていることは取組の成果であり、今後とも、継続して広報等に努めることが肝要である。